

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3 年

ポップランド（放課後デイサービス事業） 職員数：5 名 回収数：5 名 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	☐			指導形態や指導内容に合わせてスペースを確保しています。個別対応も可能な別室を設けています。
	2	職員の配置数は適切であるか	☐			人員配置基準以上の配置をして適切な支援を提供しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	☐			床に段差はありませんが、手すりや車いす用のスロープは設置していません。利用者の状況に合わせて、可能な範囲で対応したいと考えています。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	☐			サービス提供前後にミーティングをしていますが、職員会議を増やして全職員が参画した中で、PDCA サイクルに取り組みます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	☐			平成 30 年より利用者へのアンケート調査を実施しています。集計したものを職員間で共有し改善につなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	☐			ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		☐		実施していないため今後検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	☐			研修機会は設けていますが、回数が不十分のため、今後もっと研究の機会を設けたいと考えています。
適切な支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	☐			定期的にあセスメントを行い、支援計画を作成しています。

援 の 提 供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			利用者のニーズと課題を分析し児童発達支援計画を作成していますが、今後は客観的なアセスメントツールの使用を検討しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			利用者に応じたプログラムを立案できるように職員間で話し合っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者が安心して取り組めることを前提とし、季節や天候に合わせてプログラムを工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日や長期休暇期間には外出や親子遠足、創作活動等平日には行えない支援を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			一人ひとりのニーズに合わせて個別活動と集団活動を組み合わせています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			その都度行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その都度行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援日誌と個別記録を取っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、計画を作成、更新しています。
関 係 機 関	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			利用者の発達支援を図るために保護者への支援及び関係機関との連携を実施しています。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			管理責任者、児童発達管理責任者が参画しています。

や 保 護 者 と の 連 携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	☐			送迎時に担任教諭と連絡調整しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		☐		現時点で対象利用者がいませんが、必要な時には主治医の指示書をもって対応しています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	☐			保護者の了解のもと市内子ども発達支援センターの相談支援専門医と事前情報の共有をしています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		☐		現時点で、対象利用者がいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	☐			子ども発達支援センター主催の研修会や交流会に参加して助言を受けています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			☐	利用者は学校で障がいのない子どもと活動する機会が多いため事業所として設定はしていません。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			☐	事業所の運営に余裕が出来たら参加したいです。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	☐			日々の支援プログラムを連絡ノートで伝え、送迎時に直接保護者へ口頭で伝えています。
保 護 者 等 へ の	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	☐			個別に保護者の困りごとについて相談を受けて対応しています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	☐			利用契約時、変更・改定の都度個別に行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	☐			児童発達管理責任者が、個別に面談を行って対応しています。

説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会を開催する場所がないため、外出行事で親子交流会を行っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付の担当者を配置し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に一回会報を発行しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			事業所内で周知徹底をしています。また、他の機関への情報提供はあらかじめ文書により保護者の同意を得ています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			文章にて伝える言葉選び、写真や挿絵図を使った説明等を行う事で情報が正確に伝わるように配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	事業所の規模を考慮し現在検討中です。
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルを保護者に提示し説明、配布しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回、非常火災を想定した避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			事業所内研修他外部の研修にも参加して適切な対応をしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			道路に飛び出すなど危険な行動がある利用者には、事前に保護者に確認を取って対応しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医師の指示書を保護者から提示してもらい対応しています。

	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	☐			ヒヤリハット事例集は作成している。全職員が周知して再発防止に努めています。
--	----	----------------------------	-----------------------	--	--	---------------------------------------